

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人権尊重の精神を基盤に、児童が多様な人々との「協働」を通して、自ら考え未来を創造し、たくましく生き抜く人間力の基礎を培う。

(2) 目指す児童像

「発見」：新しい知との出会いや初めての経験を通して、自分の可能性や仲間のよさを発見する児童

「挑戦」：明確な目標をもち、仲間と協力しながら困難な課題に取り組み、前向きに夢を追う児童

「創造」：日々の学びの中から、新しい自分や多様な価値観を生みだし、時代を築く力をもった児童

(3) 具体目標

ア 豊かな心の醸成

- ・ 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成
- ・ 望ましい人間関係の構築された集団の育成
- ・ 多様性を理解し、互いを尊重し合う心の育成
- ・ 目標をもち、自ら挑戦する意欲の高揚

イ 確かな学力の定着

- ・ 学習内容の確実な定着と理解の深化の追究（ICTの効果的な活用）
- ・ 協働して課題解決に取り組む、学びに向かう人間力の育成
- ・ 特別支援教育の充実による特性に応じた力の獲得

ウ 強い心と体の育成

- ・ 健康・体力における事故の課題の把握とその解決に向けた実践力の育成
- ・ 生涯に渡り運動に親しむ基盤の育成
- ・ 健康・安全への意識の高揚と生活習慣の定着

2 学校経営の理念

- ・ 様々な社会変化に柔軟に対応し、新しい時代を生きる力を育成するため、児童が自ら考え行動しながら自己表現できる機会の創生と、仲間との「協働」を通して豊かな人間性を育む教育活動を展開する。
- ・ 教職員がそれぞれの強みと熱意、英知を集結し、家庭・地域と連携しながら活気に満ちた教育環境を醸成する。

3 学校経営の方針

- ア 児童が個々の力を発揮するとともに、仲間と互いのよさを認め合いながら、新しいことに挑戦し伸びていく機会の創出に努める。
- イ 教職員は児童一人一人の良さを認め課題に寄り添いながら、褒めて励ます指導を通して児童との信頼関係の構築に努める。
- ウ 地域社会・保護者・地域学校園内小中学校と連携し、目標を共有しながら、地域教育資源の効果的な活用を図ることにより、「社会に開かれた教育課程」の具現化に努める。
- エ 「児童が課題意識をもって主体的に取り組む授業」を通して基礎学力の定着を図るとともに、対話型の課題解決学習を取り入れながら、知識を活用する能力の育成に努める。
- オ 教職員が組織力を生かして課題に対峙することで、個々の資質向上及び組織力の向上に努めるとともに、校務の改善や保護者ボランティアの効果的な活用を通して、教職員の勤務時間の適正化を図る。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自分でよく考え、未来に向かって たくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

- ・各教科の指導内容との関連性を重視し、学年行事・特活・総合的学習等の時期や内容を設定する。
- ・地域社会の教育資源を効果的に活用し、学習活動の場の広がりや習得の深まりを目指す。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・教職員が学校課題を共有し、方向性を明確にして解決に向かう学校組織の機能向上。
- 児童一人一人が自分の居場所をもち、仲間と認め合いながら、力を発揮できる場の創生。
- ・地域社会への積極的な情報発信による信頼関係の構築と地域教育力の効果的な活用。

(2) 学習指導

- 協働して課題解決に取り組む活動を通した、主体的に学びに向かう力の育成。
- ・習熟度別学習やICTの効果的な活用による学習内容の確実な定着と理解の深化の追究。
- ・「一人一人を生かし、自己肯定感を高める指導の工夫」の研究を通した授業の充実。

(3) 児童生徒指導

- 認め励ます指導を通した自己肯定感の涵養と、目標をもち活動に主体的に取り組む態度の育成。
- ・規範意識の高揚と、多様性を理解し仲間と認め合いながら伸びていく集団の形成。
- ・SNS、通信型ゲームを起因とする問題行動の早期把握と指導体制の構築。

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- ・児童が運動能力に関する自分の課題を知り、楽しみながら体力の向上を図る体育活動の充実。
- 「健康・安全」「食」に関する課題の把握と、実践力を伴う生活改善の意識の育成
- ・感染症拡大防止に関する正しい知識の理解と、生活習慣の確立。

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・目標を明確にもち、進んで新しいことに挑戦しながら仲間とともに伸びていく態度の育成。
- ・規範意識を身に付け、自他の価値を認め合いながら協働し、社会を構築していく力の育成。
- ・主体的に学習に取り組み、対話型の課題解決活動を通した基礎学力・活用能力の育成。
- ・学びを支える地域に感謝し、主体的にかかわる態度の育成。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ◇ 児童を育てる挑戦の場の創生と、学校生活における「協働」を重視した活動の実践。
- ◇ 児童指導の総合的な取組である「めざせ！スーパーみはらっ子」の実践。
- ◇ 多様な特性をもつ児童の育ちを支える「チームみはらの特別支援」の推進。
- ◇ 対話型課題解決学習の効果的運用と、地域教育力を生かした広く深い学びの場の提供。
- ◇ 「一人一人を生かし、自己肯定感を高める」授業実践の在り方の研究。

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

- ①基本的考え：地域と共に発展してきた本校の歩みを重んじ、地域と連携した諸活動を推進する。
- ②主な取組
 - ・地域教育資源の日常的な活用と、児童の地域理解を深める諸活動の推進。
 - ・円滑な学校運営のための、地域協議会との双方向的な意見交換と協力関係の構築。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

- ①基本的考え：学習習慣を含めた規範意識、生活習慣の形成が課題と考える。仲間同士認め合い、学習や生活における高い目標や主体的な姿勢を育成したい。
- ②主な取組
 - ・キャリア教育の視点を重視し、学びに向かう力の育成に向けた教育活動を展開する。
 - ・道徳教育、いじめ・不登校対策、特別支援教育における連携。

(3) 不登校対策

- ①基本的考え：愛着形成や生活習慣の乱れ、自己肯定感の低さ等の課題が見られる。すべての教育活動を通して自分のよさや多様な考えに触れ、自他の大切さを認識する機会を確保することで自己肯定感を高めるなど、新たな不登校を生み出さないよう努める。また、不登校状態にあ

る児童に対しては、登校するという結果のみを求めるのではなく、将来の社会的自立、自己実現という長期的な視点を児童、保護者、教職員が共有しながら、チームみはらとして組織的にかかわり続ける。

②主な取組・関係機関との効果的な連携と事案に応じた柔軟な校内支援体制の構築。

・保護者面談やケース検討会を通じた情報及び目標の共有。

・学級経営・教育相談の充実。欠席時の電話連絡，家庭訪問の実施。

・Q Uテスト，アンケートを通じた早期発見と関係機関と連携した個々の事案への適切な対応

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え：I C T機器を効果的な活用に向け，全教職員で情報を共有しながら，できることに挑戦していく。

②主な取組 ・一人一台端末を効果的に活用した授業や学校行事，家庭学習の在り方の模索

(5) 宇都宮学

①基本的考え：地域の教育資源を効果的に活用し，郷土への愛情と誇りを培う。

②主な取組 ・地域人材や郷土に関する資料を用いた授業の，年間指導計画への系統的配置